

# 川崎平右衛門フェスタ2025in瑞穂市

令和7年6月6日(金)川崎平右衛門命日(1767年、258年前)

岐阜県瑞穂市 あじさいホール 13時~16時20分



民と共に  
仕事をあこす

## 川崎平右衛門フェスタプレ企画上映会

川崎平右衛門と中村哲先生

江戸時代の享保の改革(8代将軍徳川吉宗、大岡越前守忠相)で、新田開発を通じて改革の中心となった川崎平右衛門の意味と功績を学び合いたいこと、この改革が今の日本社会の再生に向けた大きなヒントがあること。こうしたことを議論する場にできたらと思います。関東の武蔵野地域での新田開発が知られていますが、木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)の繰り返す水害と治水の難しさを解決した大きな功績もあります。こうした功績を実現した川崎平右衛門の命日である6月6日に「川崎平右衛門フェスタ2025in瑞穂市」を開催します。

地域の復興支援をしてきた川崎平右衛門と医師中村哲、労働者協同組合の実践と歴史的価値を共有、学び合いをする場にぜひご参集ください。

## 中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは!

5/10(土) 14:00 岐阜市文化センター 当日先着500名

5/11(日) ①10:30 ②14:00 大垣市総合福祉会館 各回当日先着250名



# 医師中村哲の 仕事・働く ということ

労働者協同組合法  
成立記念映画

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ベシヤール会/PMS

企画・提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズユニオン)連合会センター事業団

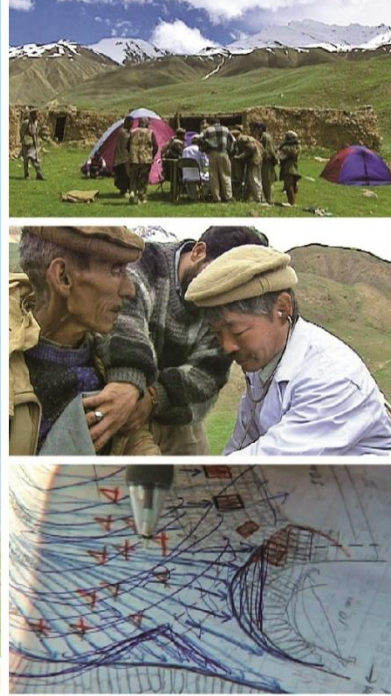
一般社団法人 日本社会連帯機構

製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分



医師中村哲の  
仕事・働く  
ということ

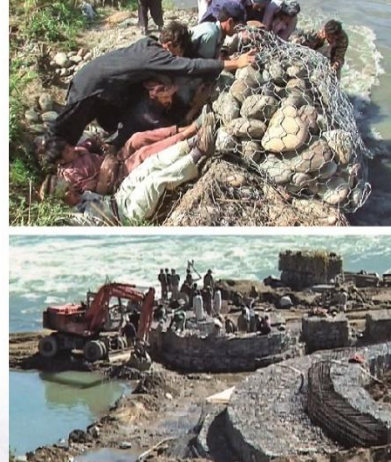
アフガニスタンとパキスタンで、  
病や戦乱、そして干ばつに  
苦しむ人々のために  
35年にわたり  
活動を続けた男がいた。



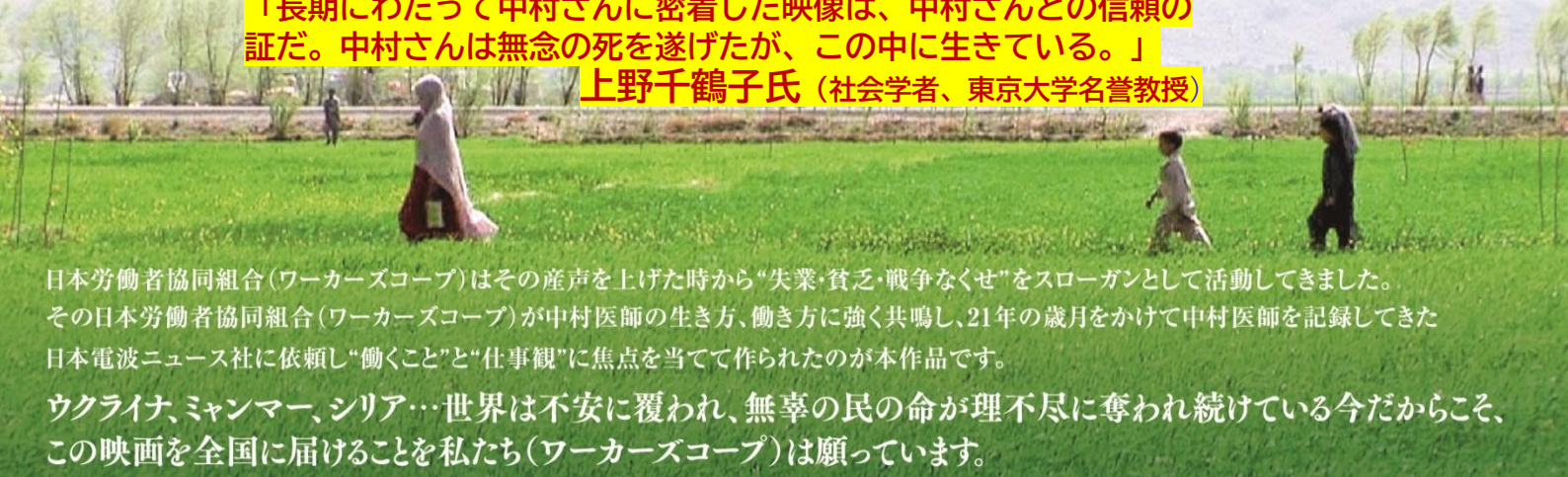
1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。中村医師は言う「これは人間の仕事である」



「長期にわたって中村さんに密着した映像は、中村さんとの信頼の証だ。中村さんは無念の死を遂げたが、この中に生きている。」  
上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授）



日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）はその産声を上げた時から“失業・貧乏・戦争なくせ”をスローガンとして活動してきました。その日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）が中村医師の生き方、働き方に強く共鳴し、21年の歳月をかけて中村医師を記録してきた日本電波ニュース社に依頼し“働くこと”と“仕事観”に焦点を当てて作られたのが本作品です。

ウクライナ、ミャンマー、シリア…世界は不安に覆われ、無辜の民の命が理不尽に奪われ続けている今だからこそ、この映画を全国に届けることを私たち（ワーカーズコープ）は願っています。

**5/10(土)14:00 岐阜市文化センター小劇場** JR・名鉄岐阜駅徒歩 10分 当日先着500名  
**5/11(日)①10:30 ②14:00大垣市総合福祉会館**5階ホール 大垣市馬場町124 各先着250名

全回 45分前より受付/開場

当日受付先着順

参加費：一般 1,000円（学生・障がい者 500円高校生以下無料）\*当日受付での支払い

上映（47分）後企画者によるアフタートーク

「中村医師・川崎平右衛門・労働者協同組合法から考える未来のまちづくり」

お問合せ：ワーカーズコープ東海 TEL052-222-3850（受付時間：平日 10:00～17:00）

主催：労働者協同組合労協センター事業団東海事業本部

共催：映画『医師中村哲の仕事・働くということ』上映実行委員会

（一社）日本社会連帯機構

後援：大垣市 大垣市教育委員会

